

## (6) アスファルト合材

### 新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

令和7年度第1四半期（4～6月）の県全体の製造出荷数量（速報値）は232千tで、前年同期の203千tを上回り、累計で前年比+14%となった。

地区別では、上越地区が43千t（前年同期31千t、同+39%）、中越地区が82千t（同63千t、同+30%）、下越地区が104千t（同104千t、同±0%）、佐渡地区が3千t（同5千t、同-40%）であった。

前年度（令和6年度）の年計は881千tで、令和5年度の981千tから約10%減少している。令和6年度第4四半期（1～3月）は124千tで前年同期比-17%と低調であったが、今期（令和7年度第1四半期）は全県で+14%と持ち直しており、3月末までの降雪に伴う各現場での工程遅延等が主因と推測されるため、単一四半期の改善のみで通年の回復を断定できる段階にはない。

前年同期の報告では、県全体での急激な市場縮小により工場稼働率が低く、製造能力に余裕がある状況としていた。今期は数量面で反発が見られるものの、地区間でばらつきがあり、稼働率の本格的な改善には至っていないため、供給能力には引き続き余裕がある状況である。

運搬コストや人件費の上昇、資材価格の高騰といったコスト増要因も継続しており、コスト環境は依然として厳しいままである。今後については、下越地区（新潟市内の一部）で震災復興工事の発注が見込まれる。今期の下越地区は前年同期比で横ばいであり、復興需要の本格的な顕在化は今期以降と見込まれる。製造能力に問題はないが、アスファルト殻およびコンクリート殻の受入量に課題が残っている。

### 富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和7年度4月～6月期の出荷状況は、県計では12万3千tで前年同期と比べ7%の増となった。地区別でみると東部地区が6万4千tで6%の増。西部地区が5万9千tで7%の増となった。

東部地区では高速道路関連や民間工事の出荷が好調な要因になっている。その分県、市町村の工事は減少ぎみである。西部地区では能登半島地震の復旧工事で国道などの維持修繕工事が増加の要因と見られる。今後は県、市町村などの復旧工事が今後も一部の地域で増加の予想がされる。

県全体としての今後の問題点が慢性的なダンプ不足及び砕石不足（特に6号）により今後もひっ迫の恐れがある。また輸送費に関しても大幅な上昇が予想される。

### 石川県

記事提供：石川県アスファルト合材協会

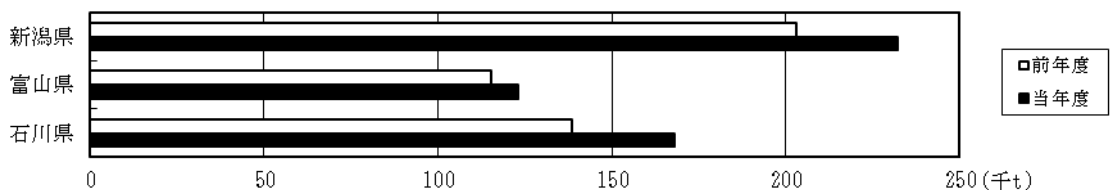
石川県における令和7年度4月～6月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比30.3%増、能登地区で前年比6.8%増、石川県全体では前年比21.4%増と昨年同時期に比べ加賀地区、能登地区共に増、石川県全体としても出荷量は増加した。

引き続き能登地区では能登半島地震による道路復旧工事が、昼夜問わず行われている状況であり、今後も工事が続くがプラントの出荷能力、資材の安定供給、人手不足が懸念される状況で、一部加賀地区プラントからも能登地区への合材供給を行っている状況。

主要材料であるアスファルト価格は、不透明感があり、原油価格、為替相場共に不安要素が多く余談を許さない状況。

また今年度のアスファルト関連の物件について、昨年同様、能登地区は道路の復旧工事が中心となり供給増加が予想されるが加賀地区については不透明な状況である。

アスファルト合材出荷量の推移（4月～6月期）



（単位：千t、%）

県	地 区	令和 6 年度 年 計	令和 7 年度					
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累 計	
新潟県	上 越	▲10 122	39 43				▲65 43	
	中 越	▲ 6 259	30 82				▲68 82	
	下 越	▲14 472	0 104				▲78 104	
	佐 渡	22 28	▲40 3				▲89 3	
	県 計	▲10 881	14 232				▲74 232	
富山県	東 部	8 247	6 64				▲74 64	
	西 部	8 189	7 59				▲69 59	
	県 計	4 437	7 123				▲72 123	
石川県	加 賀	0 371	30 112					112
	能 登	0 233	7 56					56
	県 計	0 604	21 168					168

（注）・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員32社のうち32社

富山県

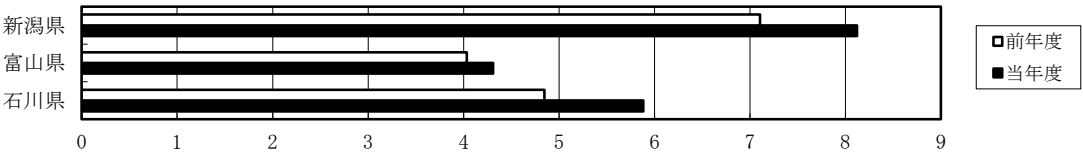
会員14社のうち14社

石川県

会員18社のうち12工場分

◎参考資料

アスファルト出荷量の推移（４～６月期）



(単位：千t、%)

県	地 区	令和 6 年度 年 計	令和 7 年度				
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	上 越	▲10 4.3	39 1.5				▲65 1.5
	中 越	▲ 6 9.1	30 2.9				▲68 2.9
	下 越	▲14 16.5	0 3.6				▲78 3.6
	佐 渡	22 1.0	▲40 0.1				▲89 0.1
	県 計	▲10 30.8	14 8.1				▲74 8.1
富山県	東 部	8 8.7	6 2.3				▲74 2.3
	西 部	8 6.6	7 2.1				▲69 2.1
	県 計	4 15.3	7 4.3				▲72 4.3
石川県	加 賀	0 13.0	30 3.9				0 3.9
	能 登	0 8.1	7 2.0				0 2.0
	県 計	0 21.1	21 5.9				0 5.9

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量（千t）＝アスファルト合材量（千t）×3.5%」